

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒210-0007
 住 所 川崎市川崎区駅前本町12番1号
 氏 名 川崎化成工業株式会社 印
 取締役社長 池田 滋
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	川崎化成工業株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区千鳥町1番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	有機酸製品の製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	13,429	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	技術室
		所在地	川崎市川崎区千鳥町1番2号
		電話番号	044-223-9033
		FAX番号	044-276-1791
		メールアドレス	0
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名 (法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人 (法人にあっては、その代表者) が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 26,865 t-CO ₂ (調) 23,231	(実) 23,616 t-CO ₂ (調) 20,211	(実) 23,836 t-CO ₂ (調) 20,445	(実) 21,956 t-CO ₂ (調) 18,687	(実) 26,296 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) 12.1 % (調) 13.0 %	(実) 11.3 % (調) 12.0 %	(実) 18.3 % (調) 19.6 %	(実) 2.1 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値		0	0		
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	○川崎工場（塩浜）の生産設備を停止し、川崎工場（千鳥）への設備の集約化により、会社全体のユーティリティーの効率化が図れた。川崎スチームネットの低CO2蒸気を導入することによるCO2の削減が図れた。
第2年度	○昨年に引き続き川崎スチームネットの低CO2蒸気を導入することによりCO2の削減が図れた。 またオフィスについては照明の間引き、エアコン設定温度の厳守、時間外のエアコン使用の制限を実施し電力使用量の削減を図った。
第3年度	○昨年に引続き川崎スチームネットの低CO2蒸気の利用、オフィスにおける省エネ活動を継続した。 ○省エネルギー委員会を中心に適正能力ポンプへの更新による電力使用量の削減、及び不良蒸気トラップの更新・整備による燃料使用量の削減によりCO2の削減を図った。 ○エネルギー原単位の大きい製品が生産減となったことで燃料消費減となり、それに伴いCO2排出量が減少した。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該 当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 ○主要機器等の保安全管理 ○川崎スチームネット蒸気の導入 ○ポンプの省エネ ○オフィスにおける省エネ活動の推進 ○イントラネット活用による省エネ活動の啓発
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 エネルギー管理統括者を委員長とした省エネルギー委員会を設置し、推進体制を整備した。 ○川崎スチームネット蒸気の導入 CO2排出係数の低い蒸気を購入し効果的に使用した。 ○オフィスにおける省エネ活動の推進 昼休みにおける部分消灯を実施した。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 エネルギー管理統括者を委員長とした省エネルギー委員会を設置し、継続的に会合を実施しCO2削減の推進を図った。 ○川崎スチームネット蒸気の継続使用 昨年に引き続きCO2排出係数の低い蒸気を購入し効果的に使用した。 ○オフィスにおける省エネ活動の推進 照明の間引き、エアコン設定温度の厳守、時間外のエアコン使用の制限を実施した。 ○イントラネット活用による省エネ活動の啓発 イントラネットにて、夏季作業服への衣替えの前倒し、ノー上着・ノーネクタイの推進、オフィスの節電対策の推進を図った。
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 エネルギー管理マニュアルを作成した。それに従い省エネルギー委員会を定期的開催し、省エネ活動の推進を図った。 ○主要機器等の保安全管理 主要機器の管理標準の作成・見直しを実施した。 ○川崎スチームネット蒸気の導入 昨年に引き続きCO2排出係数の低い蒸気を購入し効果的に使用した。 ○ポンプの省エネ 適正能力ポンプへの更新を実施し(4台)、約100kWhの電力削減を図った。 ○蒸気トラップの保安全管理 不良蒸気トラップの更新・整備を実施し燃料使用量の削減を図った。 ○オフィスにおける省エネ活動の推進 照明の間引き、エアコン設定温度の厳守を実施した。 ○イントラネット活用による省エネ活動の啓発 ノー上着・ノーネクタイの推進、オフィスの節電対策の推進を図った。
自動車等 該当者等 (第3号)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none">○自社工場内に倉庫を増設し、外部倉庫への輸送によるCO2排出量削減を図る。○従業員の通勤は原則として公共交通機関を利用する。○夏期(6-9月)クールビズを実施する。○川崎温暖化対策推進会議(CC川崎エコ会議)へ参加する。
第1年度	<ul style="list-style-type: none">○自社工場内に倉庫を増設し、外部倉庫への輸送によるCO2排出量削減を図った。○従業員の通勤は原則として公共交通機関を利用した。○夏期(6-9月)クールビズを実施した。○川崎温暖化対策推進会議(CC川崎エコ会議)へ参加した。
第2年度	<ul style="list-style-type: none">○従業員の通勤は原則公共交通機関の利用を継続した。○夏期クールビズを1か月前倒し(5-9月)で実施した。
第3年度	<ul style="list-style-type: none">○従業員の通勤は原則公共交通機関の利用を継続した。○夏期クールビズを実施した。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	23,609	t-CO ₂
(調)	23,571	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎工場（千鳥）	川崎区千鳥町1番2号	1631	石油化学系基礎製品製造業	23,574 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	2

(3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--